

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	3-2-2	取組項目名	公会計情報のさらなる充実				
所管	財政	局	財政	部	財政	課	
〔P〕 取組内容	実施内容	「統一的な基準」に基づく財務書類の作成・バージョンアップ・公表を行うとともに、同書類の財政運営面での活用に努める。					
	目標	H30	予算編成などにおける意思決定過程において公会計情報を有効に活用する手法について検討し、試行する。また、職員のフルコスト意識の啓発に係る取組を実施する。				
		R1	試行結果を検証し、公会計情報の更なる活用を検討し、実施する。また、官庁会計の決算公表時期を目途として、財務書類の公表時期を前倒しする。				
		R2	公会計情報の更なる活用を検討し、実施する。				
〔D〕 実績・進捗状況	H30	公会計情報の活用について有識者への意見聴取を行うなど、活用手法の検討を進めた。また、職員のフルコスト意識醸成のため、課内職員向けの公会計研修を実施した。加えて、平成30年度の目標とはしていなかったが、毎年、作成・公表している財務書類に関する説明資料について、内容をよりわかりやすくバージョンアップした上で、公表を行った。					
		H30の達成度	c	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・公会計に関して先駆的な取組みを行っている大阪市を視察し、公会計情報の活用等についてヒアリングを行った。 ・ヒアリングの結果、有用な活用手法についてさらなる検討が必要であることから、活用の実施までには至らなかった。 ・また、検証の結果、官庁会計の決算公表時期を目途とした公表には、会計システムの大幅な改修等が不可欠であり、実施は、困難であることが判明した。 					
		R1の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
		H30~R1の達成度	c	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
	R2	多大なコストをかけずに更なる活用を行う手法について検討を行ったが、有用な手法の構築には至らなかった。					
		R2の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
		H30~R2の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
	行革効果額の見込み及び実績			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		見込み	-	百万円	-	百万円	-
実績		-	百万円	-	百万円	-	百万円
評価	C	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良					
〔C〕 課題分析	公会計情報の有用な活用手法について、更なる研究が必要である。						
〔A〕 改善策	公会計情報の活用事例について、引き続き情報収集を進める。						
備考							